

# Securities News Digest

この Securities News Digest は、ニューヨーク事務所が、米国等における最近の証券関係の興味深いニュースを紹介したものである。

〔一九九五年五月二一日号〕

## 議会関係

GAO、SECとCFTCの統合案に関し得失を列挙し、議会は慎重に法案審議を行うべきであると助言。

下院銀行委員会、銀行と証券会社の系列関係を認める内容の金融制度改革法案を可決、下院商業委員会に回付。焦点は銀・証券根問題から保険問題の取扱に移っている。

## SEC関係

SEC、投資家が株券なしで株式を保有することが出来る「直接登録システム」に対するコメントを受領。投資家が一般的に同システムを支持する一方、SIAは反対を表明。

ベッカーSEC市場規制局長、年内にも派生商品取引の内部管理、会計方針、ヘッジおよびレバレッジ等に関するガイダンスを発出する予定と発言。

SEC、主要取引所に新規上場した株式を地方取引所において取引するための待機期間を1日に短縮する規則案を承認。

レビットSEC委員長、新規公開を予定している企業が事前に資料を交付して投資家の需要を探ることを認めるなど企業の資金調達を容易にすることを目的とした提案を検討中と表明。さらに、「証

ニューヨーク事務所通信

券」の登録でなく「会社」の登録という制度の導入についても考慮すると発言。

取引所・自主規制機関等関係

NASD、SECと共同で銀行系証券会社が販売資料に銀行のロゴを使用する際の規則を作成中。

NASDとSEC、スタンダード・アンド・プアーズ社の債券投資信託のリスク・レーティング使用を巡る見解の相違が表面化。NASDがリスク・レーティング不使用を決定をしたことに対し、導入を目指すSECは失望を表明。

NASD、機関投資家に証券を販売する際の顧客適合性に関するガイドライン案を発表。

銀行監督機関関係

FRB、抱き合わせ禁止条項の適用除外を拡大し、銀行持株会社の子会社が一定金額以上の取引を維持する顧客に対しサービスの割引を提供する

ことを認める規則案を承認。

Talk of the Town

廃止の実態

レビットSEC委員長の主導で組織された「証券外務員の報酬に関する委員会」の報告で指摘された悪しき報酬慣行の見直しが既に始まっている。ペインウェーバーは、移籍してきた外務員に割り増しコミッションを支払う制度を廃止したが、前払いボーナスは維持している。このため、業界では、単なる売名行為だとする声がある一方で、他社が割り増しコミッションを支払い続けた場合、同社は外務員のリクルートで大きく遅れをとると指摘する意見もある。